におい・かおり環境学会の原稿執筆要領

　　○臭気太郎１）、香気花子２）、環境良一３）

（１）におい・かおり環境学会委員会、２）香料研究所、３）環境対策(株)）

**原稿書式の雛形**

**＊本紙は、「原稿執筆要領」に従った書式の参考資料です。**

**＊原稿作成時に本紙に沿って上書きする等活用下さい。**

１．はじめに

この度は、「におい・かおり環境学会」への発表申込をいただき、ありがとうございます。講演要旨集原稿の執筆要領についてご案内いたします。ご不明な点は下記事務局までご連絡下さい。なお、本案内も執筆要領に従って作成しておりますのでご参考にして下さい。

原稿は、A4用紙1頁又は2頁にまとめて下さい。ワードプロセッサーを使用し、A4判（白色、縦向き）で作成して下さい。

２．原稿様式

(1)原稿枚数

原稿枚数は**A4判1頁又は2頁**で作成して下さい。原稿の書式は下記に示すとおりです。

原稿の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。ただし、白黒で印刷した際に分かるよう確認をして下さい。

(2)発表演題のレイアウトとフォント

　全角で第1行から書き始めて下さい。題字の左側は40mm以上あけるようにして下さい（２段にまたがっても構いません）。題字は若干大きめの文字（太字も可）を用いて下さい。文字はMSゴシック体、13ポイントとします。題目は行の中心にくるように調整して下さい。

(3)執筆者氏名と所属

題目を書いた次の1行は空白とし、その次の行に氏名を、さらにその次の行に所属を記載し、所属が複数機関になる場合は、氏名の右肩に所属の左肩に上付き文字の数字で記すことにより分類して下さい。また、口頭発表者の氏名に○印をつけて下さい。執筆者氏名と所属は右揃えで調整して下さい。

(4)原稿本文

執筆者氏名と所属を書いた次の1行は空白とし、その次の行から書き始めて下さい。なお、日本語はMS明朝体、英数字はTimes New Roman体、10.5～11ポイント、1ページの文字数・行数は45字（全角）×43行を標準とし、上下25mmおよび左右それぞれ20mmの余白をとって下さい。

　句読点は、「、」と「。」を用いて下さい。

　段落番号は、概要、原稿とも執筆例を参考にして下さい。

(5)氏名・所属ならびに連絡先の記載

１頁目の下端に発表代表者の氏名、連絡先（宛先、電話番号、FAX番号、E-mailなど）を記入し、原稿の最終頁の末尾に５語程度のキーワードをご記入下さい。

(6)数式

［連絡先］〒169-0075　新宿区高田馬場2-14-2　公益社団法人 におい・かおり環境協会

におい・かおり環境学会事務局　TEL 03-6233-9011　FAX 03-6862-8854 E-mail：info@orea.or.jp

数式には、(1)、(2)、(3)などの通し番号を付けて下さい。

(7)図、表及び写真

図、表及び写真には、それぞれ、図1、図2、･･･、表1、表2、･･･、写真1、写真2･･･などと通し番号を付けて下さい。

図、表及び写真には、内容を的確に表現する標題を必ず付けて下さい。図及び写真の標題は、図及び写真の下部に、表の標題は、表の上部に付けて下さい。



表－1　表の標題は表の上に置く

|  |  |
| --- | --- |
| 臭気強度 | 内　　　　　　容 |
| ０１２３４５ | 無臭やっと感知できるにおい(検知閾値)何のにおいかがわかる弱いにおい(認知閾値)らくに感知できるにおい 強いにおい強烈なにおい |

(8)引用文献・参考文献

引用文献は、引用順に番号を付し、最後に番号順にまとめて掲載して下さい。

参考文献は、引用文献の後に番号順にまとめて掲載して下さい。

文献番号は、文章中または図、表の引用箇所に1)、2)のように上付き文字を使用して明記して下さい。

文献の記載方法は、以下a～cをご参照下さい。

a．論文の場合 ･･･　著者名：標題、誌名、Vol．、No．、発表年、掲載頁の順とします。

b．単行本の場合 ･･･　著者名：書名、発行所名、発行年月、掲載頁の順とします。

c．著者名は、姓名で記し、著者が複数で多い場合、筆頭者以外は、他○名としても結構です。

一般に公表されていない文献は、引用文献又は参考文献として扱われません。

図、表等の引用・転載にあたっては、著作権所有者の許可を取って下さい。

記載例

　1)臭気太郎：報文・事例紹介、におい・かおり環境学会誌、VOL.42、No.6、2011、pp420～435

キーワード：におい・かおり環境学会、講演要旨集、原稿、執筆要領、締め切り

**図１　講演要旨集原稿の書式**